

決算委員会締めくくり討論

公明党議員団を代表をして平成28年度一般会計歳入歳出決算並びに4特別会計決算について賛成の立場から討論をします。

日本経済の状況は、自公連立政権が2012年12月に発足以来、日本経済再生が着実に進み、雇用関連の統計は高水準を維持。企業業績は改善し、株価も上昇するなど、景気の拡大を示す経済指標が目立っています。

しかし、中国などアジア新興国経済の勢いに陰りが見え始め、先行きが不安定な要素もあります。また北朝鮮の核爆弾開発や大陸間弾道ミサイル発射実験などのリアルな軍事的脅威などもあり、決して楽観できない状況もあります。政府が示した28年度予算基本方針でも「一億総活躍社会」の実現に取り組む一方、財政の厳しい状況を踏まえ少子化高齢化に対応するため歳出全般にわたり聖域なき徹底した見直しを推進するとの方針に合わせ、北区としても「北区経営改革プラン2015」の項目を中心に事業の廃止を含めた既存施設の見直し、外部化の推進など、歳出改革を行いました。

また、歳入面でも「経済財政運営と改革の方針2015」で示された「経済財政再生計画」に沿って学校施設跡地や遊休地の有効活用や売却、受益者負担の適正化などに取り組み安定的な財源の確保を行ないました。

この他、健全財政の維持のため減債基金への積立をはじめ将来を見据えた事業展開のため十条まちづくり基金や新庁舎建設基金、学校改築基金への積立を着実に行いました。

これらの財政の健全化の取り組みをしつつ、区民一人ひとりがゆとりと豊かさ、そして地域への愛着を実感できる「人が輝く、まちが輝く、未来が輝く、ふるさと北区」の実現に向けて対応してきた事は評価します。

具体的には安全安心なまちづくりのために密集住宅市街地整備促進事業や医療用深井戸整備、防犯カメラの設置費用助成。

地域のきずな作りではコミュニティソーシャルワーカーの配置 北区版 地域包括ケアシステムの構築。

子育てファミリー層・若年層の定住化では子育て応援団事業、産前産後サポート事業、シティープロモーションの実施。

高齢者施策では認知症初期集中支援事業、まちづくりの一層の推進については王子駅周辺や十条西口再開発を推進し、稲付公園の再整備や北園児童遊園の整

備も行われました。

また、2020 東京オリンピックパラリンピック開催を見据えアスリートの手形モニュメントの設置、外国人向け観光ガイドマップの作成などを行いました。

これら、公明党から要望してきた施策について実施された事は高く評価致します。

但し、今後の取り組みとして以下の要望を求めます。

1、受動喫煙防止対策及び、路上喫煙防止対策の強化を行うこと

1、特別支援教室及び、発達障害児にマルチメディアダイジー教科書の導入を行う事

1、上中里貝塚へ簡易トイレや手洗い場の設置及び VR の活用で遺跡の積極的な公開をすること

1、日常活動が出来る手話通訳の養成を行うこと

1、csw の全区的な展開と活用をはかること

1、公衆浴場への AED 設置助成をすること

1、赤羽北子供プール跡地へエレベーターの設置でユニバーサルデザインのまちづくりを行うこと

そのほか今回の決算特別委員会で申し上げました各種要望についての実現に向けた積極的な取り組みを求め、平成 28 年度北区一般会計決算並びに四特別会計決算について賛成いたします。